

## 認定こども園旭幼稚園関係者評価表

評価年月日 2017年 6月18日

評価者名 ( 小野晃男・秋元弘美 )

評価項目	評価 (本園の行った自己評価の内容についてご意見、ご感想を自由に記述ください。)
1-ア	<p>○毎週行われる教師会は保育実践の吟味検討する場として大事にしたい。 例えば、各クラスから対象児1名の夫々の実態を前面に据えて保育の在り方(子どもの動き、活動内容、保育者の関わり方…等)を吟味検討する。この積み重ねがお互いの視野を広げ、質的深まりを図る方向へつながると思える。</p> <p>○保護者・園児共に神様に守られ、愛される日々を感じながら生活できたと思います。</p>
1-イ	<p>○各年齢による発達に応じた活動を重点的に取り入れる試みは必要である。 例えば、体育的活動の視点から(リトミック運動、器械運動、粗大運動…) 表現的活動の視点から(想像力を広げる) ※○曜日というように週日課の一つに位置づけるようにする。</p> <p>○一人ひとりの子ども達を良く見て、知り、その子自身の成長を捉え、見守り、支え、時には背中を押して寄り添っていただきました。</p>
1-ウ	<p>○園の保育方針を保護者に理解をしてもらうために ・タテ割編成・自由保育の実践の中で、経験化、社会化の広がりという視点から事例(子どもの生の姿、エピソード)を取り挙げ、質的な面での子どもの変容(成長)を伝えていくとよい。</p> <p>○保護者会では真摯に保護者の意見に耳を傾け、園の方針として理解していただく事は、丁寧にお話されていきました。また、柔軟に対応できる事は、迅速に対応していただきました。</p>
2-ア	<p>○今後とも、子どもの無限な創造力・可能性を魅き立てるような、自然な環境であってほしいです。絵本は親子をつなぐ素敵なツールです。</p>
2-イ	<p>○備えあれば憂いなし。</p>
2-ウ	<p>○冷房を設置していただき、猛暑日は快適でした。</p>
3	<p>○「おさがりサイクル」等で在園児保護者の交流もあり、親子共々効果があると思います。</p>
4	<p>○副担任の複数担任態勢の中で、保育に当る共有意識が持ち合える態勢づくりが大切になると思える。</p> <p>○多様な子どもを受け入れている現状で、発達障害がある場合は、保育の中核に据えて活動の在りよう、関わり方…に十分な配慮・位置づけが重要な課題になるろう。</p> <p>○副担任の先生方の成長は、目を見張るものでした。今後とも、より一層「保育」の質の向上を目指し研鑽を重ねることを期待いたします。</p>

5	<p>○指導において適確な対応を図るうえで、個人ファイル（記録）の保存をしながら各連絡会のみならず保育実践上の一助にしていくようにしたい。</p> <p>○幼小連携は、小学校への期待、不安等、様々な思いを抱く親子にとって、非常に大切なことだと考えます。今後とも継続していただきたいと思います。</p>
---	--

本園の行った自己評価について、上記以外のご意見、ご感想がありましたらご記述ください。

○保育の在り方において自己満足・マンネリ化に陥らないようにするためには

- ・日々の実践を通して記録の集積を根気よく図っていくこと（子どもの動きを中心に）
- ・それをもとに、吟味検討を行う機会をもつようにすること（個々担任内で、チームで行う態勢づくりを）

○クラスがタテ割構成であり、自由保育（遊びの活動）を中心に日課が組まれているその意義づけを明確にして打ち出すことが大切である。（何をねらい、どのような力を子どもにつけるか）

- ・その上に立って保育の在り方を見直したり評価するようにして、教師の立ち位置を問う形のものにしたい→マンネリ化防止

○「発達障害」に視点を据え、配慮された保育の在り方・位置づけを明確に打ち出していくことが重要であると思える。

○旭幼稚園の保育は、子どもとの共感、一人ひとりの子どもを良く見て時には寄り添う。また、保育者のキャリアの長短に関係なく、その時の保育と一緒に取り組んでいる姿勢が見受けられ、私はとても感銘を受けました。

最近、「子どものみとり」「記録」が大切と言われております。客観的に見て、文に落とす事も大事ですが、様々な感情を持った子ども達相手です。日々、状況も変わりますし、一概には行かないと思います。どうか、「子どものみとり」「記録」をする為の保育になつてしまわないように、今後も「旭」らしい保育をお願いします。

旭幼稚園の実り多き今後に心からお祈りいたします。

ご協力ありがとうございました。いただいたご意見、ご感想を本園の今後のために有効に活用させていただきます。